

第15年度

京都まちとみどり
写真コンクール
入選作品集

主催 ■ 京都府都市計画協会

共催 ■ 京都府・京都市

財京都府公園公社・財京都市都市緑化協会・社京都府造園建設業協会

後援 ■ 京都府市長会・京都府町村会・京都新聞社

KBS京都・エフエム京都・NHK京都放送局

協賛 ■ 京都府造園組合連合会・京都府写真材料商業組合

(社)日本植木協会京都府支部・(社)日本造園建設業協会京都府支部

(財)日本造園修景協会京都府支部・富士写真フイルム株式会社(順不同)



京都まちとみどり写真コンクール

緑とオープンスペースは、大気の浄化、気温の調節など良好な環境づくりに大切な役割を果たしているほか、潤いのある生活環境の確保、レクリエーションの場の提供など多くの役割を担っており、安全で快適な都市環境の形成に欠くことのできないものです。

このような緑の重要性と都市緑化の必要性に対する理解を深めるために、10月の「都市緑化月間」を中心に、全国各地で緑と公園に関する様々な行事を行っております。

京都では、この「都市緑化月間」の行事の一つとして、「まちの緑と公園」、「身近な小さな緑」、「窓辺の花や緑」、「まちの水と緑」などをテーマに「第19回京都まちとみどり写真コンクール」を行いました。特別賞として「舞鶴市長賞」も設けられ、320点の応募作品の中から入選作品44点を選びました。

主催：京都府都市計画協会

共催：京 都 府

京 都 市

(財)京都府公園公社

(財)京都市都市緑化協会

(社)京都府造園建設業協会

第19回 京都まちとみどり写真コンクール 入選作品一覧

(敬称略)

◆京都府知事賞

「町家と大樹」 清水 一文

◆京都市長賞

「花と街路樹」 辻 清

◆舞鶴市長賞

「お城まつりの日」 ちはら まさみ

◆(財)京都府公園公社理事長賞

「ファミリーの休日」 西沢 敏子

◆(財)京都市都市緑化協会理事長賞

「電車は地下へ
歩道と車線は緑の増設に」 伏木 弘臣

◆(社)京都府造園建設業協会会長賞

「都会の竹林」 笹川 一

◆京都新聞社賞

「フラワーショップ」 小畑 博

◆KBS京都賞

「街のリズム」 山本 清

◆エフエム京都賞

「木 陰」 脇 明宏

◆NHK京都放送局長賞

「緑の街路」 上門 俊夫

◆富士写真フイルム(株)賞

「緑樹広場」 谷 泰雄

◆優秀賞(順不同)

「緑の公園」 高橋 好子

「緑の散歩道」 三上 穆

「花と水と少女」 松田 勇

「癒しのグリーン」 神内 宏輝

「緑下を走る」 大石 政雄

◆佳作(順不同)

「緑の中の釣人」 山崎 勝弘

「みどりの小径(みち)」 西沢 五郎

「亀の石」 木村 清松

「気をつけて、手をあげて」 石井 實

「新緑の大地のくつろぎ」 横道 政一

「窓辺の緑道」 畑 精一

「街角の花」 三上 敏雄

「昆虫の楽園」 藤本 正則

「緑陰の茶席に憩う」 小原 正義

「新緑の風薫る並木道」 嘉納 邦夫

「午後の一時(まちの緑と公園)」 原 英三郎

「楽しい遠足」 小畑 禮司

「西寺公園の緑」 中西 昭次

「わが母校」 久故 博睦

「昼下りの公園の親子」 貞広 治子

「立体壁画の緑と花」 貞広 雅代

「赤色の映える路」 余田 功

「交叉点の彩り」 山口 恵一

「お花畑と子供たち」 芦谷 光倫

「集合住宅の緑」 谷口 隆捷

「木陰」 深井 征子

「像と塀のある緑地 パートⅠ」 梅原 隆

「団欒のひととき」 田中 晴雄

「街中の階段」 清水 文雄

「緑の木陰」 杉本 太一郎

「私が管理者」 有本 隆司

「生垣のある家」 山本 純子

「白い花の咲く街」 小巻 勝

京都府知事賞1点、京都市長賞1点、舞鶴市長賞1点、(財)京都府公園公社理事長賞1点、(財)京都市都市緑化協会理事長賞1点、(社)京都府造園建設業協会会長賞1点、京都新聞社賞1点、KBS京都賞1点、エフエム京都賞1点、NHK京都放送局長賞1点、富士写真フイルム(株)賞1点、優秀賞5点、佳作28点 合計44点



「町家と大樹」

清水 一文

撮影場所：堀川通寺之内付近（京都市上京区）



「花と街路樹」

辻 清

撮影場所：高台寺南門通（京都市東山区）

舞鶴市長賞



「お城まつりの日」 ちはら まさみ

撮影場所：西舞鶴田辺（舞鶴市）

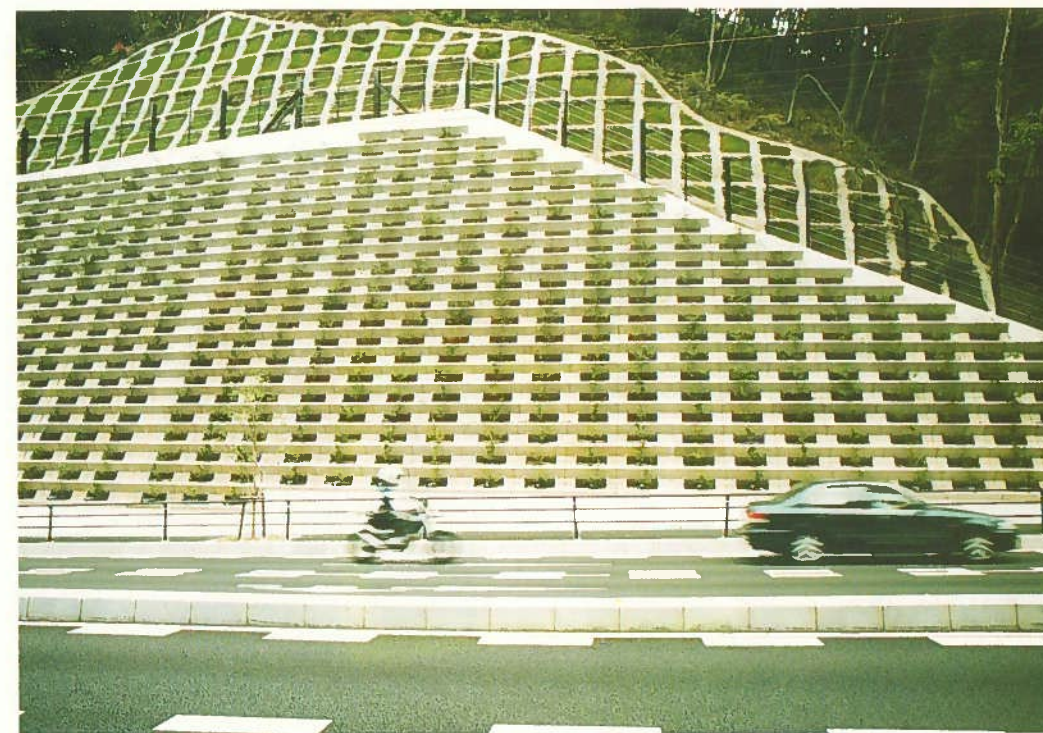
(財)京都府公園公社理事長賞



「ファミリーの休日」 西沢 敏子

撮影場所：けいはんな記念公園（精華町）

(財)京都市都市緑化協会理事長賞



「電車は地下へ 歩道と車線は緑の増設に」 伏木 弘臣

撮影場所：府道四ノ宮四ツ塚線九条山付近（京都市山科区）

(社)京都府造園建設業協会会長賞



「都会の竹林」 笹川 一

撮影場所：四条烏丸付近（京都市下京区）

京都新聞社賞



「フラワーショップ」小畑 博
撮影場所：上賀茂荒草町（京都市北区）

KBS京都賞



「街のリズム」山本 清
撮影場所：堀川通寺之内付近（京都市上京区）

エフエム京都賞



「木 陰」脇 明宏
撮影場所：上賀茂神社（京都市北区）

NHK京都放送局長賞



「緑の街路」上門 俊夫
撮影場所：洛西中央通（京都市西京区）

富士写真フイルム(株)賞



「緑樹広場」谷 泰雄
撮影場所：新風館内（京都市中京区）

優秀賞



「緑の公園」高橋 好子
撮影場所：梅小路公園（京都市下京区）



「緑の散歩道」三上 穆
撮影場所：京都府立植物園付近（京都市左京区）



「花と水と少女」松田 勇
撮影場所：宇治市植物公園（宇治市）



「癒しのグリーン」神内 宏輝
撮影場所：舞鶴赤十字病院（舞鶴市）



「緑下を走る」大石 政雄
撮影場所：河原町御池（京都市中京区）

佳作



「緑の中の釣人」山崎 勝弘
撮影場所：宇治川派流（京都市伏見区）



「気をつけて、手をあげて」石井 實
撮影場所：梅小路公園西口付近（京都市下京区）



「みどりの小径（みち）」西沢 五郎
撮影場所：けいはんな記念公園（精華町）



「新緑の大地のくつろぎ」横道 政一
撮影場所：梅小路公園（京都市下京区）



「亀の石」木村 清松
撮影場所：高野川 鴨川合流点付近（京都市左京区）



「窓辺の緑道」畑 精一
撮影場所：北山通 京都府立植物園北側付近（京都市左京区）

佳作



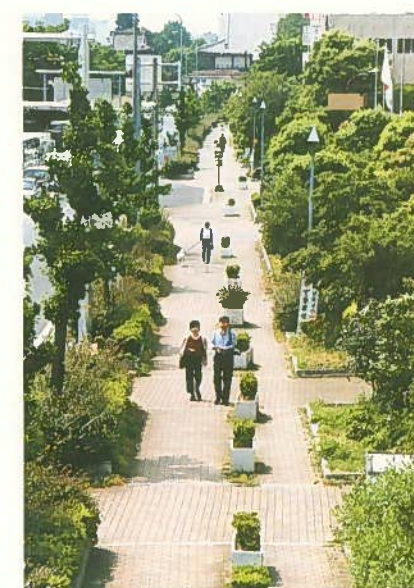
「街角の花」三上 敏雄
撮影場所：四条河原町（京都市中京区）



「昆虫の楽園」藤本 正則
撮影場所：東大路高野住宅内（京都市左京区）



「緑陰の茶席に憩う」小原 正義
撮影場所：京都府立植物園（京都市左京区）



「新緑の風薫る並木道」嘉納 邦夫
撮影場所：堀川通 五条付近（京都市下京区）



「午後の一時（まちの緑と公園）」原 英三郎
撮影場所：梅小路公園（京都市下京区）

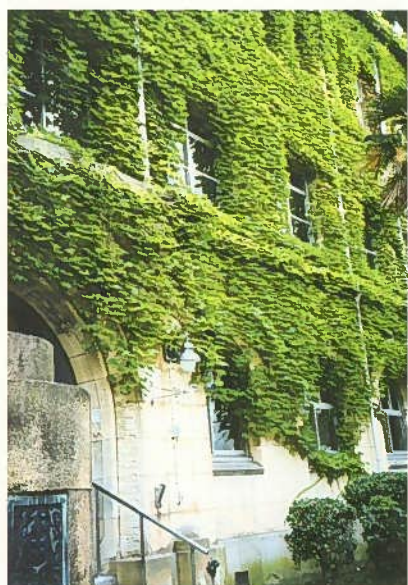


「楽しい遠足」小畑 禮司
撮影場所：京都府立植物園（京都市左京区）

佳作



「西寺公園の緑」中西 昭次
撮影場所：唐橋西寺公園内遺跡（京都市南区）



「わが母校」久故 博睦
撮影場所：成徳中学校（京都市下京区）



「昼下りの公園の親子」貞広 治子
撮影場所：上終（かみはて）公園（京都市左京区）



「立体壁画の緑と花」貞広 雅代
撮影場所：田中東飛鳥井町付近（京都市左京区）



「赤色の映える路」余田 功
撮影場所：長岡天満宮八条ヶ池（長岡京市）



「交叉点の彩り」山口 恵一
撮影場所：川端通団栗橋付近（京都市東山区）

佳作



「お花畑と子供たち」芦谷 光倫
撮影場所：由良川花庭園（綾部市）



「集合住宅の緑」谷口 隆捷
撮影場所：北大路堀川付近（京都市北区）



「木 蔭」深井 征子
撮影場所：太陽ヶ丘（宇治市）



「像と塀のある緑地 パートⅠ」梅原 隆
撮影場所：明倫緑地（舞鶴市）



「団欒のひととき」田中 晴雄
撮影場所：梅小路公園（京都市下京区）



「街中の階段」清水 文雄
撮影場所：新風館（京都市中京区）



「緑の木陰」 杉本 太一郎
撮影場所：辰巳通（京都市東山区）



「生垣のある家」 山本 純子
撮影場所：下鴨南野々神町付近（京都市左京区）



「私が管理者」 有本 隆司
撮影場所：JR西舞鶴駅（舞鶴市）



「白い花の咲く街」 小巻 勝
撮影場所：大原野東境谷町付近（京都市西京区）

第19回 京都まちとみどり写真コンクール講評

第19回京都まちとみどり写真コンクール審査委員長
(京都写真家協会会長) 横山 健蔵

恒例の都市緑化月間行事の一環として開催しております「京都まちとみどり写真コンクール」は、『まちの緑と公園』、『身近な小さな緑』、『窓辺の花や緑』、『まちの水と緑』等をテーマに京都市内の緑に関する写真を募集しました。今年は特別賞として、「舞鶴市長賞」が設けられたことにより、京都市域だけでなく京都府下の広範囲な地域からより多くのご応募をいただき、16点の入賞作品を含む44点の作品を入選として決定しました。

今年の入賞作品についての講評を申し述べたいと思います。

「京都府知事賞」は、大きな街路樹と京の町並みを旨くフレーミングし、画面構成をしっかり計算した作品です。特に、昼間の晴天の太陽光線を避けることによって緑が強くなりすぎず、その結果、瓦葺きの町並みの存在が強調された秀作で、作者のカメラアイを評価した作品です。

「京都市長賞」は、手が届くほどの身近な緑や花を広角レンズの特性を生かして巧みに表現しています。歩道の外国人や車道の人力車を取り入れ、シャッターチャンスを見事にキャッチした傑作で、町中での緑の潤いを感じさせる作品です。

「舞鶴市長賞」は、人の賑わいを喧騒だと感じさせないのは、右側の旧家と前方の緑がある結果だろうか。何か落ち着いた印象が強い作品です。作者のカメラワークの巧みさを感じさせます。

「(財) 京都府公園公社理事長賞」は、『まちの緑と公園』のテーマにマッチした、広々とゆったりとした公園で楽しむ家族の風景で、人の動きが緑に溶け合った清々しい雰囲気があります。人物を中心に「まちとみどり」の写真を撮るのはむずかしいだけに貴重で評価できる作品です。

「(財) 京都市都市緑化協会理事長賞」は、道路の整備にともなう緑が少なくなることもあるが、のり面の緑化がそれを食い止め、将来、緑いっぱいになることを想像させる場面です。平面的になりやすい状況を車とバイクを入れ、変化をもたせたので良い作品となりました。

「(社) 京都府造園建設業協会賞」は、高いビルに囲まれた空間が、石の塊によって威圧され押し潰されそうな印象を与えますが、それを緑と風でもって癒し、ホッとさせる雰囲気を感じさせ、まさに、造園の役割を表した典型的な作品です。

「京都新聞社賞」は、花屋の店先とはいえ見事にディスプレイされた美しさに、通り掛かりの人たちが思わず足を止めてしまった様子が、人の後ろ姿によく表現されている作品といえます。

「KBS京都賞」は、ややもすると失われてしまう都会での季節感を、大きな黄葉した街路樹が呼び戻してきたような爽やかな作品です。

「エフエム京都賞」は、緑陰に集まった人々の心境をうまく表現したスナップです。何かユーモアを感じさせる作品となっています。

「NHK京都放送局長賞」は、高層建築の谷間を街路樹が繋る街。緑化を示すそのものずばりの作品で、全体がうまく構成され、都市に街路樹が必要不可欠なことを強く印象つけた作品です。

「富士写真フイルム(株)賞」は、画面中央に思い切って木を入れ、人物がシルエット気味になったのがよい。パラソルの色があまり目立たないのは、人物が強いせいだろうか。

「優秀賞」は、緑の中で屈託なく遊んでいる子供達の情景がよく出ている「緑の公園」。日差しを遮る大きな街路樹の緑。それを広角レンズで奥行きを持たせ、スケールのある作品にした「緑の散歩道」。単調な素材だが、人物を上手くフレームインさせた「花と水と少女」。近所の公園だろうか、日常の生活の一面がよく出ている「癒しのグリーン」。町並は変化したが、そこに歴史も生活もあり、さらに緑も欠かせないことを表現した「緑下を走る」。以上、5点であります。

総評を申し上げます。今回応募点数は320点、17歳から84歳までの136名から力作をご応募いただきました。群を抜く作品はなかったものの、よく計算し作画した作品や人物をうまく被写体として組み込んだ作品など、ハイレベルなものが多く、選考するのに時間がかかりました。選者の目に留まる作品とは、当然ながらコンクールの主旨を充分取り入れていること、そしてそれが理解しやすいことが基本です。その上に立って作者の思いを表現してください。

今回は、20回の記念すべきコンクールとなります。緑あふれる素晴らしい都市を撮った作品が、ますます多く寄せられることを願っております。

都市に緑と公園を



第19回京都まちとみどり写真コンクール入選作品集

平成16年3月発行

発行／財京都市都市緑化協会 編集／京都府都市計画協会・財京都市都市緑化協会 印刷／新日本プロセス株式会社